

ひごまると学ぼう！熊本城

復旧に関わる人たち（建物編）



ひごまる

熊本城の建物の復旧はどのように進めているの？

まずは建物を解体し、木材や瓦などの状態を調査します。解体した木材は保管している間にくわしく調査して傷んだ部分やこわれた部分を補修します。また、こわれた瓦はつくりなおします。その後、建物をふたたびもとどおりに建てなおします。

1 スタート



2 解体



3 調査



4 保管



5 補修



6 復旧



どんな人たちが熊本城の建物をなおしているの？

建築にかんするさまざまな技術や知識をもった人たちが協力しながら、熊本城の建物をなおしています。

建物復旧チーム

かん とく
監督
しよくいん
市職員

せつ けい かん り
設計・管理・調査
ぶん かざい しゆり
文化財建物修理の
せん もん か
専門家

こう じ
工事
けん せつ けん ちく
建設会社(建築)

監督

市職員



建物の復旧に必要な設計や工事を計画するとともに、工事の進むようすを確認します。



設計資料のチェック



木材のチェック

設計・管理・調査

文化財建物修理の専門家



文化財の建物をなおすための設計や、設計どおりに工事が進んでいるか確認します。建物に残っている修理の跡を探して、いつ建ったのか、いつ修理されたのかなどの歴史も調べます。



建物内の採寸



釘穴の痕跡調査

工事

建設会社(建築)



文化財の建物をなおす作業を行います。作業は大工、左官、瓦葺きなど、それぞれの作業を専門の職人さんが行います。



土壁を塗る作業



屋根の仕上げ作業